

## 平成22年度第1回高知県社会貢献活動支援推進会議

- 1 日時 平成22年9月17日(金) 10:00~12:00
- 2 場所 職員能力開発センター201会議室
- 3 出席者 委員13名中10名出席、事務局4名出席
- 4 議題 (1) 第2次社会貢献活動支援推進計画に基づく平成22年度支援策について  
(2) 社会貢献活動の質的評価についての指標研究・検討について  
(3) その他

### 5 内容

議題(1) 第2次社会貢献活動支援推進計画に基づく平成22年度支援策について

#### 〈資料について事務局からの説明〉

#### 〈意見交換〉

#### ○支援策の課題1 大学とNPOの関係

- ・ 現在も公開講座はあるが、無料でできないか。「NPO」についての講座だけでなく、例えば福祉系のNPOなら福祉の講座も受講したいはず。NPOに関することだけがニーズでない。どういう情報が必要なのか、NPO側のニーズを調査することも必要。
- ・ 大学については、扉をたたかないと支援策は進んでいかない。
- ・ 高知大学は講座を全部オープンにしている(5,000円)。
- ・ 高知女子大学は公開講座(NPO)がある(無料)。

#### ○支援策の課題2 企業の社会貢献活動について

- ・ 特効薬はないかもしれないが、どこを押すと一歩前進するのか、検討必要。
- ・ 企業独自の社会貢献活動は増加している。ただ、なかなかうまくNPOとマッチングできない。

#### ○支援策の課題3 県、市町村の意識付け

- ・ 市町村によって温度差が大きいと感じる。
- ・ 県や高知市はNPOとの関係が築けているかもしれないが、慣れていない市町村の中には、まだ、NPOが行政の下請け・管理下にあるものと考えているところがある。
- ・ 県は、市町村を支援していくことはできるが、現場に手を出すことはできない。市町村職員の意識を変えていくことが重要。
- ・ 県と市町村の連携がうまくいっていない。本筋は、市町村を県が支援すること。
- ・ 支援計画に、市町村がらみでどういうことが入ってくるといいか考えていくべき。
  
- ・ 産業振興計画の中のNPOの位置づけを考える。予算が多いところなので、ぜひ活用を。
- ・ こうち人づくり広域連合とNPOは、もっとしっかりネットワークを作ることが重要ではないか。
- ・ 行政もNPOも、連携不足。組織内でも連携できていない。
- ・ 県と市町村をつなぐのは自由に動けるNPOではないか。
- ・ 県でなく、市町村レベルでの協働が必要となってきた。県は側面支援を。
- ・ 次期社会貢献活動支援推進計画に向けて、実績を示せるようにしなければならない。
- ・ 「NPOは、これだけ社会に貢献している」ということを示さないと、今後の公的支援は得られないのでは。
- ・ 高知県ボランティア・NPOセンターには、ボランティアの裾野を広げるしくみづくりを期待する。

- ・地域にはいろいろなニーズがあるので、話し合い、連携をすることが必要。
- ・ハーティポイントをファンドに寄付できる仕組みについては、心に呼びかけるような広報が必要ではないか。もっと力を入れて広報を。

## 議題（２）社会貢献活動の質的評価についての指標研究・検討について

### 〈資料について事務局からの説明〉

### 〈意見交換〉

- ・NPO側はどんな評価を求めているのか→利用者の満足度も評価にいれてもらいたい。
- ・「満足」というファジイな言葉でははかれない。何に満足しているか、機能したのか、役に立ったのか。
- ・抽象的なことははかるためのものさしを検討していく。具体的に表現して、チェックして評価できるしくみが必要。
- ・活動を「継続」していることも評価のうちに入るのでは。
- ・お金ではない利益もある。どう評価するか。
- ・質と量は表裏一体。どんなに質が良くても、企業が支援する場合には、量がないと厳しい。
- ・経営力の質の評価もしていきたいと考えている。
- ・活動を評価する指標ではなく、NPOが自己評価できる指標をつくる。自治体は補助はしても、個々の団体を評価してはいけない。NPOの団体が評価すべき。
- ・それぞれのNPOの自己評価を基に、評価する。その評価のしくみはこの推進会議で運営してはどうか。
- ・自己評価のデータ活用についてはNPOに考えてもらいたい。
- ・次期推進計画に、県の支援予算を獲得していくのには、NPOのセクターとしての質的評価をする方法を持っていないといけない。

## 議題（３）その他

### ①企業の社会貢献活動について

- ・誰が、どのような支援をすれば企業がやりやすくなるのか。
- ・企業の社会貢献活動をしやすくなる支援はどういうものか考えていかねばならない。

### ②市町村とNPOとのネットワーク

- ・広げるためには、どういう支援が必要か。

### ①②ともに、それぞれの立場（NPO、企業、行政等）から考える。

⇒ 次回推進会議の検討課題とする。

### ・宿題として

市町村とNPOのネットワークを広げていくためには、どういった支援策を考えたらいいか各委員それぞれの立場から意見をまとめること。